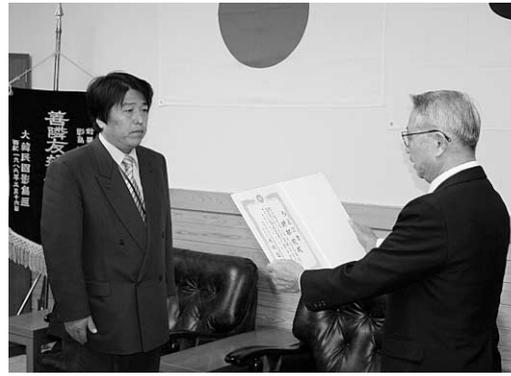


対馬市長選挙 新人の財部能成氏が初当選



当選証書附与式で



財部能成
(50歳、無所属)
元対馬市役所職員
元西日本新聞対馬通信部記者

任期満了(3月27日)に伴う対馬市長選挙が、2月24日に告示され、現職の松村良幸氏(無所属)と新人の財部能成氏(無所属)の2名が立候補し、一週間にわたる選挙運動が繰り広げられました。投票日の3月2日には、市内127ヶ所の投票所で一斉に投票が行われ、午後8時半から峰町三根のシャインドームみねで即日開票されました。その結果、1万5065票を獲得した財部能成氏が初当選を果たし、今後4年間の市政

を担当することになりました。今回の選挙での当日有権者数は3万447人と前回市長選の3万2198人と比較し、1751人の減少。投票率は82.67%で、前回の87.77%と比べ5.1ポイントの減でした。翌3月3日には、当選証書附与式が市役所応接室で開かれ、対馬市選挙管理委員会の円城雄司委員長から、財部能成氏に当選証書が手渡されました。

有効投票数		24,797
当	無新 財部能成	15,065
	無現 松村良幸	9,732
無効投票数		375
投票総数		25,172

区分	男	女	計
当日有権者数	14,658	15,789	30,447
投票者数	12,020	13,152	25,172
投票所での投票者	10,090	11,476	21,566
期日前投票者	1,742	1,424	3,166
不在者投票者	188	252	440
棄権者数	2,638	2,637	5,275
投票率	82.00	83.30	82.67

当選者



堀江政武
(64歳、無所属)
元対馬市議会議員



齋藤久光
(60歳、無所属)
元対馬市議会議員

対馬市長選挙と同時に開催された対馬市議会議員補欠選挙は、欠員2名に対し4名が立候補しました。開票の結果、齋藤久光氏(無所属)と、堀江政武氏(無所属)が当選しました。

対馬市議会議員補欠選挙 齋藤久光氏・堀江政武氏が当選

有効投票数		23,423
	無元 白石安秀	5,338
	無新 入江有紀	3,257
当	無元 齋藤久光	7,676
当	無元 堀江政武	7,152
無効投票数		1,742
投票総数		25,165

区分	男	女	計
当日有権者数	14,658	15,789	30,447
投票者数	12,016	13,149	25,165
投票所での投票者	10,086	11,473	21,559
期日前投票者	1,742	1,424	3,166
不在者投票者	188	252	440
棄権者数	2,642	2,640	5,282
投票率	81.98	83.28	82.65

■平成20年 第1回対馬市議会定例会

平成20年第1回対馬市議会定例会が、3月11日から24日までの14日間の会期で開かれました。

予算関係議案では、平成20年度対馬市一般会計予算案をはじめ20件の議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。

このうち平成20年度の対馬市の基本的な収入と経費を盛り込んだ平成20年度対馬市一般会計予算は、3月2日に対馬市長選挙が行われたことから、新規の施策を見送るなど政策的経費を抑えた「骨格予算」となっています。（内容は6～7ページに記載）

市長職務代理者が提出した条例案では、「対馬市移動通信用鉄塔施設条例の一部を改正する条例」をはじめ14件の議案が上程され、こちらもすべて原案どおり可決されました。また、議員提出の意見書案「道路特定財源の確保を求める意見書について」及び、決議案として提出された「議会広報特別委員会設置に関する決議について」は、2件とも原案可決されました。



対馬市農業委員会

会 長

職務代理者

第1回総会

糸瀬安則氏

吉野 敏氏 を選任



改選後初となる対馬市農業委員会の第1回総会が3月21日、峰支所会議室で開催されました。

総会には、公選委員20名、団体推薦3名、議会推薦2名の計25名中、24名が出席しました。なお、今回の改選より議会推薦委員が2名の減になっています。

会議に先立ち、対馬市長代

理として清水統括監が団体及び議会推薦の4名の委員（1名欠席）に選任書を授与。続いて議事が行われ第1号議案の会長互選と第2号議案の職務代理者の互選が行われました。

その結果、会長には糸瀬安則委員（上県町）が、職務代理者には吉野敏委員（美津島町）がそれぞれ選任されました。両氏とも改選前に引き続き再任となりました。

対馬市農業委員会

（団体推薦委員（敬称略））

共済推薦 國分秀敏（60）

上対馬町舟志

農協推薦 阿比留一禮（59）

厳原町豆酸

土地改良 初村重政（52）

厳原町久根田舎

議会推薦 永留義範（68）

峰町三根

上野秀一（67）

上対馬町豊

会長挨拶

このたび、再び対馬市農業委員会会長の要職に就くことになり、誠に身に余る光栄でありますと共に責任の重大さを痛感している次第です。

今、対馬市を取り巻く農業情勢は極めて厳しいものがございしますが、安定した農業経営を目指し、活力に満ちた対馬地域の振興を図るためにも、遊休農地対策、イノシシなどの有害鳥獣対策などを重点的に市や関係機関と連携しながら積極的に行っていきたいと思っております。今後とも市民皆様方の絶大なご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



吉野 敏職務代理者



糸瀬安則会長

灯標の記念額を書いた 東小6年の成瀬海那さんに感謝状

なるせせな
かまふたせ
釜蓋瀬灯標（峰町佐賀）

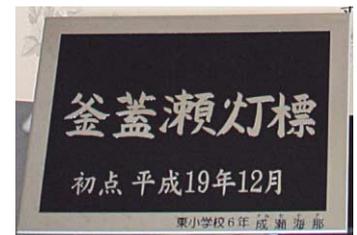
峰町佐賀沖に建設中の釜蓋瀬灯標に取り付ける記念額の題字を書いた同町東小学校6年生の成瀬海那さんに、対馬海上保安部から感謝状と記念品が贈られました。

釜蓋瀬灯標は高さ約10mで25カンデラの光を放ちます（光達距離は約6.5km）。平成19年度に建設される全国の唯一の灯標で、4月中にも完成する予定です。対馬海上保安部は灯標建設にあたり名称と点灯年月日を記載した記念額（縦15cm、横20cm）の題字を地元の東小学校に依頼。6年生児童9名が筆をふるい成瀬さんの作品が選ばれました。

小学校1年生の時から5年間習字を習ったという海那さんは書道5段の腕前。「自分が選ばれると思っていなかったので嬉しいです。蓋の字が難しかったです」と笑顔で話しました。いい卒業記念になりましたね。



成瀬海那さん（中央）と6年生児童たち



成瀬さんの書いた記念額の題字さすがに上手です

小学校通学路にゲンカイツツジを植栽

小網校区健全育成協議会

豊玉町の小網校区健全育成協議会（村瀬幸喜会長）は3月16日、小学校の通学路の緑化と環境美化を目的に、市道佐保田線の沿道に対馬市の花「ゲンカイツツジ」の苗木55本を植栽しました。

活動には小網小学校に通う児童ら18名と保護者11名が参加。和気あいあいとした雰囲気の中で、親子が協力して植栽しました。来年には美しい花が沿道を彩ることでしょう。今から楽しみです。



鶏鳴幼稚園卒園式

3月14日、美津島町の鶏鳴幼稚園で卒園式が行われました。保護者や在園児が見守る中、27名の卒園児は担任の先生から自分の名前を呼ばれると元よく返事して、園長先生から修了証書を受け取りました。

園長先生からの励ましや来賓の方からのお祝いの言葉を受け、園児達は思い出いっぱいの園舎から巣立っていきました。

28名に修了証書を授与

平成19年度対馬地区

「しま自慢」観光カレッジが終了



平成19年度対馬地区「しま自慢」観光カレッジの修了式が3月8日、対馬市交流センターで開かれ、所定の単位を取得した28名の受講生に県認定の修了証が授与されました。このカレッジは、県下の離島、県、県観光連盟等で構成するながさき「しま自慢」観光人材育成協議会が主催。しまの活性化を担う「観光」の先導役となる人材を育成する

ため、昨年6月から約半年間にわたり、観光ガイド、地域コーディネーター、ブルー・グリーンツーリズムインストラクター、商品開発クリエイターの4つの専門コースで土曜、日曜日を中心に講義や研修が実施されてきました。平成17年度から始まったこの事業も19年度で終了になりました。

式では修了証書の授与に続き、修了生を代表して美津島町の海田彩さんが謝辞を述べました。

職業がバスガイドという海田さんは「観光ガイドコースの実施訓練で、講師や他の受講生の案内を聞いて新しい発見や知識をもらい、仕事がこれまで以上に好きに、楽しめるようになった。今後も島の発展に協力し、民間と行政のパイプ役となり、対馬を全国No1の島にできるように頑張ります」と話しました。

第10回対馬地区漁協青壮年部

意見発表大会

上対馬町の豊永保聖さんが優勝



豊永保聖さん

対馬地区漁協青壮年部連絡協議会（中村公德会長）主催の第10回対馬地区漁協青壮年部意見発表大会が2月21日、美津島町で開催されました。

大会は漁協青壮年部の日頃の活動を通して感じたことを発表し、融和と団結を図ろうと行われているもので、各地区の漁協青壮年部から代表者4名が出場し、10分間の意見発表を行いました。

審査の結果、上対馬町の豊永保聖さんが最優秀賞を獲得しました。

豊永さんは若岐出身の33歳で、福岡で飲食関係の仕事についていましたが、対馬出身の奥さんの希望もあって5年前に対馬に移住。現在漁師と

して定置網漁に従事しています。

発表の中で豊永さんは、燃油の高騰、漁獲量の減少、漁価の低迷など対馬の漁業の見通しは決して明るくない中にも、同じ悩みや喜びを分かち合える仲間と出会えたことや、子どもたちに新鮮な地元の魚を食べてもらおうと、昨年、漁協青壮年部で行った幼稚園での魚料理教室で感激してもらえた体験を通して、今後も青壮年部活動を通して地元の人との交流を深め、明るい漁業環境を築いていきたいと発表しました。

豊永さんは、夏に実施予定の県漁青連意見発表会に対馬代表として参加します。

「先輩達のアドバイスもあって非常に勉強になりました。県大会では自分なりに頑張ってきたんです」と話していました。健闘を祈ります。

豊玉町曾一千尋藻間

アノセ坂トンネルの供用が開始



県道上対馬豊玉線の豊玉町曾から千尋藻間に建設されていたアノセ坂トンネル（全長181m）が完成し、3月17日から供用が開始されました。トンネル工事は、平成17年10月から平成19年10月までの工期で、事業費は約5億円。当工区は、平成14年度から事業を開始。全体延長は1450mで、今回はアノセ坂トンネルを含む790mの供用が開始されました。残りの区間は、平成21年度に供用が開始される予定です。